

「業種別職種別ユニオン運動」研究会主催

生コン関連業種別ユニオン 連続講座

大企業との対等取引を進め！
賃金・運賃大幅引上げを要求！
自動車パレード
交運労協・生コン産業政策協議会

会費：会員無料／非会員・500円

第1回

「関西生コン支部の歴史と現状」

8/25 (土)

I部 関西生コン支部の歴史

II部 現状と課題

13～17時

報告者 武建一 (全日本建設運輸連帯労働組合関西生コン支部委員長)

討論者 木下武男 (元昭和女子大学教授)

会場：連合会館 203 会議室 (東京都千代田区神田駿河台 3-2-11)

第2回

「生コン関連業種別ユニオンの発展」

9/29 (土)

I部 全日建連帯労組 近畿セメント支部

報告者 西山直洋 (全日本建設運輸連帯労働組合近畿セメント支部近畿地本書記長)

II部 近畿コンクリート圧送労働組合

報告者 桑田秀義 (近畿コンクリート圧送労働組合執行委員長)

会場：大阪経済法科大学 東京麻布台セミナーハウス 2階大会議室 (東京都港区麻布台 1-11-5)

東京メトロ日比谷線「神谷町」駅 (1番出口) 徒歩5分

第3回

「生コン関連事業協同組合の歴史と現状」

10/27 (土)

I部 事業協同組合と労働組合運動

報告者 折衝中

II部 事業協同組合と経営活動

報告者 久貝博司 (株京都生コン代表取締役)

小田要 (元大阪兵庫生コン経営者会会長)

会場：未定

※都内会議室の予定です

「生コン関連業種別ユニオン」研究講座のご案内

「業種別職種別ユニオン運動」研究会
運営委員長 木下武男(元昭和女子大学教授)
事務局 長 武藤弘道(前都労連委員長)

私たちは業種別の視点に立って、労働組合運動を研究している団体です。このたび以下のような連続講座を企画致しましたので、ご案内申し上げます。

全日建連帯労組関西生コン支部は、業種別ユニオンの典型的な活動を、長年にわたって行ってきました。業界団体を相手に集団交渉をおこない、企業を超えて労働条件を決定する運動のやり方は「関生方式」とも呼ばれてきました。その経験は若者のユニオンなどで生かされていますが、まだ広く知られるところとはなっていない。

そこで研究会は、この関西生コン支部の運動を歴史的、総合的に検討するために、3回の講座を開くことに致しました。

〈連続講座の日程・テーマ・報告者〉

回	日程	テーマおよび報告者
1	8月25日(土) 午後1時～5時	「関西生コン支部の歴史と現状」 武建一(全日建連帯労組 関西生コン支部委員長)
2	9月29日(土) 午後1時～5時	「生コン関連業種別ユニオンの発展」 Ⅰ部：西山直洋(全日建連帯労組 近畿セメント支部 近畿地本書記長) Ⅱ部：桑田秀義(近畿コンクリート圧送労働組合執行委員長)
3	10月27日(土) 午後1時～5時	「生コン関連事業協同組合の歴史と現状」 Ⅰ部：報告者未定 Ⅱ部：久貝博司(株京都生コン代表取締役) 小田要(元大阪兵庫生コン経営者会会長)

〈会場〉第1回：連合会館203会議室 第2回以降未定(都内会議室の予定です)

〈会費〉会員無料、非会員500円

〈第1回〉武委員長から産業別統一闘争の歴史と、到達した運動と組織について報告していただきます。報告とその後の質疑討論を含め半日かけて「関生方式」を深めたいと思っています。

〈第2回〉生コン支部の経験は、生コン運輸労働者のみならず、バラセメント労働者、そして圧送労働者へと広がっています。これらの労働者が結束して2010年に長期ストライキを打ち抜きました。業種別ユニオンの広がりから学ぶことは多いと思います。

〈第3回〉生コン業界は、大手セメントメーカーとゼネコンの間にあり、中小企業の経営者は圧迫されてきました。経営者が事業協同組合をつくり、労働組合と連携して業界の安定をはかる経験は貴重です。背景資本との闘いの一例として参考になると思われます。

今日の労働運動を発展させるためにも貴重な機会だと思われま。多くの皆さまが参加されま
すようお願い申し上げます。研究会HPでご案内致しております。

研究会HP: www.gyousyubetu-syokusyubetu-union.com/

